

いよいよ研修旅行最後の地、ハンガリーの首都ブダペストだ。ブダペスト全体の町並みとブダ地区は他のスタッフに任せて、ペスト地区の英雄広場からくさり橋まで伸びるアンドラーシ大通り、聖イシュトバーン大聖堂、中央市場についてまとめる事にする。

英雄広場は建国1000年を記念して建設された広場であり、中央に聖ガブリエル像が有る36mの円柱がランドマークになっている。その周りをハンガリーの英雄14人が勢ぞろいしている列柱が囲んでおり、その中でも一番左にいる二重の十字架を持った初代国王イシュトヴァーン1世は今後いろいろなところに出てくる重要な人物である。英雄広場からくさり橋までまっすぐ延びるアンドラーシ通りは並木をたずさえた世界遺産である。通りのドナウ川に程近所にある聖イシュトヴァーン大聖堂にもイシュトヴァーン1世像が有る。

br>そこからヴァーツィ通りを南に下ると活気あふれる中央市場に突き当たる。外観は駅舎の様でもあるが中に入ると自然光をふんだんに取り入れた明るい大空間が広がっている。まさにハンガリー王国の物産展にふさわしい活気であった。

